

# 2021(令和3)年度 事業報告

2021年4月 1日から

2022年3月31日まで

一般社団法人 日韓経済協会

## 目 次

I. 総会	-----	1
II. 理事会	-----	2
III. 諮問委員会	-----	4
IV. 日韓経済人会議	-----	5
V. 日韓新産業貿易会議	-----	8
VI. 青少年交流事業	-----	10
VII. 調査・広報活動	-----	15
VIII. その他事業及び出来事等	-----	18
IX. 会員異動	-----	20

# I. 総 会

## A. 第9回定時社員総会

第9回定時社員総会は2021年6月23日、東京都千代田区大手町1-3-2 経団連会館5階パールルームで開催された。定款規定により佐々木幹夫会長を議長に選出した後、下記議案を審議の結果、満場一致で原案どおり可決承認された。

1. 日 時 2021年6月23日(水)  
開 会 午後3時00分  
閉 会 午後4時00分
2. 場 所 東京都千代田区大手町1-3-2  
経団連会館 5階 パールルーム
3. 正 会 員 総 数 65名
4. 出 席 正 会 員 数 47名  
(内 訳)  
正会員出席者 14名  
委 任 状 33名
5. 議 事  
決議事項  
第1号議案 令和2年度事業報告承認の件  
第2号議案 令和2年度収支決算報告承認の件  
第3号議案 公益目的支出計画実施報告承認の件  
第4号議案 令和3年度事業計画及び収支予算承認の件  
第5号議案 任期満了に伴う理事及び監事選任承認の件  
第6号議案 常務理事に対する報酬支給の件
6. 報 告 事 項  
(1) 任期満了に伴う諮問委員会副会長及び理事委嘱の件  
(2) 任期満了に伴う顧問委嘱の件  
(3) 任期満了に伴う相談役委嘱の件

## Ⅱ. 理 事 会

### A. 令和3年度第1回理事会

1. 日 時 2021年6月8日(火)

2. 議 案

第1号議案 第9回定時社員総会開催の件

第2号議案 第9回定時社員総会付議事項承認の件

(1) 令和2(2020)年度事業報告(案)

(2) 令和2(2020)年度収支決算報告(案)

(3) 公益目的支出計画実施報告(案)

(4) 令和3(2021)年度事業計画及び収支予算

(5) 任期満了に伴う理事及び監事選任の件

第3号議案 任期満了に伴う諮問委員会副会長及び理事推薦承認の件

第4号議案 任期満了に伴う顧問推薦承認の件

第5号議案 任期満了に伴う相談役推薦承認の件

### B. 令和3年度第2回理事会

1. 日 時 2021年6月23日(水)

2. 議 案

第1号議案 会長、副会長、専務理事及び常務理事選定の件

### C. 令和3年度第3回理事会

1. 日 時 2021年12月20日(月) 書面表決

2. 議 案

第1号議案 諮問委員会理事推薦承認の件

#### D. 令和3年度第4回理事会

1. 日 時 2022年3月29日(火) 書面表決

#### 2. 議 案

第1号議案 2022年度事業計画(案)の件

第2号議案 2022年度収支予算(案)の件

第3号議案 諮問委員会副会長推薦承認の件

### Ⅲ. 諮問委員会

#### 第8回 諮問委員会

- |          |  |
|----------|--|
| 1. 日 時   | 2022年1月18日 (火)<br>17:00～19:00  |
| 2. 場 所   | 三菱クラブ  |
| 3. 出 席 者 | 諮問委員会理事会社 5社   |
| 4. 議 題   | 協会及び財団の活動報告<br>(1) 第21回日韓新産業貿易会議<br>第53回日韓経済人会議 (ビデオ上映)<br>(2) 青少年交流 (ビデオ上映) ・地域間交流<br>(3) 日韓交流おまつり in Tokyo<br>(4) インターンシッププログラム ・次世代ICT 経営者交流<br>(5) 中小企業ビジネス促進事業 ・IoT ビジネスフロンティア交流<br>(6) その他 (第三国における日韓連携事例) |

## IV. 日韓経済人会議

第53回日韓経済人会議を11月2日、東京都（ホテルオークラ東京）と大韓民国ソウル特別市（ロッテホテル）とオンラインで結んで開催し、日本側は佐々木幹夫団長以下108名、韓国側は金鉦団長以下98名が出席した。コロナ禍により2年連続でのオンライン開催となったが、スクリーンを介して両国の経済人が向かい合い、忌憚のない意見が交わされた。厳しい状況にありながらも「たとえ少人数となろうとも、交流の灯を守ろう」との声に支えられての開催であり、関係各位からのご支援、ご協力に厚く感謝申し上げます。

会場：ホテルオークラ東京 プレステージタワー 平安の間

テーマ：「日韓、ともに創造する未来」

〔2021年11月2日（火）〕

13：30～14：20 開会式

団長挨拶 ■韓国：金 鉦（キム・ユン） 韓日経済協会 会長  
韓日産業技術協力財団 理事長  
□日本：佐々木 幹夫 日韓経済協会 会長  
日韓産業技術協力財団 理事長

来賓挨拶 ■韓国：呂翰九（ヨ・ハング） 産業通商資源部 通商交渉本部長  
■韓国：姜昌一（カン・チャンイル） 駐日本大韓民国特命全権大使  
□日本：相星 孝一 在大韓民国日本国特命全権大使

14：20～15：00 基調講演

■韓国：崔泰源（チェ・テウォン） 大韓商工会議所会頭  
SKグループ会長  
□日本：麻生 泰 日韓経済協会副会長  
麻生セメント(株) 代表取締役会長

15：00～15：20 休憩

15：20～17：00 全体会議

コーディネーター 廉載鎬（ヨム・ジェホ） 前高麗大学総長・SK(株)取締役会議長

■韓国：李東根（イ・ドンゴン） サムジョン KPMG デジタル本部常務  
「ポストコロナ時代の企業のデジタル革新」

□日本：森山 朋之 ソウルジャパンプラブ理事長  
韓国三井物産(株)代表理事社長

「韓国に於ける日本企業の活動状況～現場からの報告～」

■韓国：權洛顯（クオン・ナクヒョン）  
韓国水素融合アライアンス推進団 対外協力センター長  
「水素社会とカーボンニュートラルについて」

□日本：宮内 孝久 神田外語大学 学長  
「若者達が切り開く未来」

17：10～17：30 閉会式

## 【 共同声明 】

第 53 回 日韓経済人会議

THE 53rd JAPAN - KOREA BUSINESS CONFERENCE

----- 2021. 11. 2 SEOUL, KOREA / TOKYO, JAPAN -----

「 日韓、ともに創造する未来 」

第 53 回日韓経済人会議を 2021 年 11 月 2 日に大韓民国ソウル特別市にて、日本国東京都とオンライン接続して開催し、韓国側からは金銃団長以下 98 名、日本側は佐々木幹夫団長以下 108 名が参加した。

世界経済は今もなお、厳しい状況から脱することが出来ていない。コロナ禍に対してはワクチン接種が進むなど好転の兆しが見られるとはいえ、人的往来の制限が続いていることは大きな足かせであり、感染予防のための自粛や制限が経済活動を停滞させる要因の一つであることは今も変わらない。一日も早くコロナ禍が克服され、正常な日常が戻ってくることを願って止まない。

加えて、日韓の政治・外交関係はいまだ出口が見えない。経済面への影響は一時期よりは緩和されてきたとはいえ、今もリスクにさらされている。関係改善には今後も多くの時間が必要となるかもしれないが、少しずつでも進むことを期待したい。

一方、未来に向けた歩みも進んでいる。両国企業による持続可能な開発目標の達成に向けた動きは、確実なものとなってきている。両国にとって、また人類にとって共通の課題でありながらも、その解決は簡単ではなく、達成に向けた日韓の連携も重要となってくる。

このような状況の中、両国の経済人は未来を見据え、「日韓、ともに創造する未来」をテーマに忌憚のない意見を交わし、経済・人材・文化交流の重要性をあらためて確認したうえで、以下のとおり合意した。

- 記 -

### 1. 新しい未来創造、経済交流の拡大、共通課題への協力

日韓の経済交流の拡大や第三国における協業などが、企業のメリットにとどまらず両国間の結びつきを強くするものとして、また関連する地域への貢献を含め極めて重要である。

また、地球環境や脱炭素など現代社会が直面する課題は多く、解決も容易ではない。この面においても国際協調は重要であり、日韓の経済人は長年協力してきた強固なパートナーシップのもと新しい未来をともに創造していく。



## 2. 交流・友好のインフラ

連携・協調のベースは相互の理解と信頼である。日韓の経済人は、両国連携の価値が広く認識されるよう積極的に発信する。また、未来に向けた日韓友好のインフラとなるよう、青少年などの次世代交流や、地域間など草の根交流の活性化に取り組む。

## 3. 政府への期待

円滑なビジネス往来が1日も早く再開されるよう、効果的な対策が実行されることを切望する。

なお、次回の第54回韓日経済人会議は、2022年に日本において開催する。

2021年11月2日

韓国側代表団団長 金 鉦

日本側代表団団長 佐々木幹夫

## V. 日韓新産業貿易会議

日韓経済人会議に先立って開催する専門会議として、時宜にあわせたテーマ、共通課題などについて事前に討議を進め議論を深める目的で、毎年、日韓交互に開催している。

コロナ禍によって両国間の往来制限が続いたことが影響し、日韓経済人会議も第53回は2021年秋、第54回は2022年春の開催となったため、日韓新産業貿易会議は年度内に2回という変則開催となった。

### 【第21回日韓新産業貿易会議】

1. 日時：2021年5月12日（水） 13:30～17:30
2. 会場：オンライン開催 （日本：ホテルオークラ東京）  
（韓国：COEX Conference Room）
3. テーマ：「日韓、ともに創造する未来」
  - （1）セッション（I）：未来志向の日韓関係  
韓国：徐 溱 教（ソ・ジンギョ） 対外経済政策研究院(KIEP) 前任研究員  
「複数国間協定を通じた日韓経済協力の強化策」  
日本：是永 和夫 （一社）日韓経済協会 専務理事  
「交流の11年を振り返って」
  - （2）セッション（II）：日韓共通課題の実現！  
韓国：權 洛 顯（クォン・ナクヒョン） 現代自動車 R&D 品質強化推進委員  
水素融合アライアンス推進団（H2KOREA） 対外協力センター長  
「水素経済社会・カーボンニュートラルについて」  
日本：千吉良 泰三 （一社）日韓経済協会 常務理事  
「在韓日系企業 CSR 活動支援事業」

### 【第22回日韓新産業貿易会議】

1. 日時：2022年3月17日（火） 13:30～17:30
2. 会場：オンライン開催 （日本：ホテルオークラ東京）  
（韓国：COEX Conference Room）
3. テーマ：「日韓経済連携の新たなるステージ」
  - （1）セッション（I）：コロナ禍を乗り越え進む日韓経済  
日本：安倍 誠 JETRO アジア経済研究所新領域研究センター長  
「日韓経済関係の現在－未来の連携強化に向けて」  
韓国：李 亨 五（イ・ヒョンオ） 淑明女子大学 教授

「韓日間協力の成果と今後の方向性～韓日財団 30 周年を迎えて～」

(2) セッション(Ⅱ)：新たなステージへの取り組み

日本：岡田 卓也 韓国住友商事(株) 社長

「カーボンニュートラル時代における日韓両国の共通課題“水素”」

韓国：柳楽 太郎 マイナビ KOREA Corporation 社長

「日韓人的交流の現況と協力事例, 及び未来への準備方向性」

## VI. 青少年交流事業

### 1. 青少年交流事業の実施状況

#### (1) 「日韓高校生交流キャンプ」実施状況

- ① 「未来志向の日韓関係」構築の基礎である人的交流の一環として、次世代を担う若者たちの草の根レベルの交流促進を目指し、2004年1月から「日韓高校生交流キャンプ」事業を開始した。これまで17年間で26回開催、延べ2,350人を超える交流実績となり、着実に成果を重ねて協会会員および参加学校、開催地域の理解と協力が広がりつつある。

2021年度は2020年度に続き、新型コロナウイルス蔓延の影響により、合宿形式の高校生交流キャンプの開催を見送った。

- ② 運営面では2006年度から2007年度までは、本事業の趣旨に賛同いただいた6社・団体の協賛金・助成金により運営し、2008年度から2011年度までは、日本政府の「21世紀東アジア青少年大交流計画事業(JENESYS：2007年度から2011年度の5年間実施)」に登録され、(公財)日韓文化交流基金 委託事業の形態で資金を得て運営した。2012年度は、日韓経済協会の剰余金と韓国中小企業庁の支援金を合わせて、これまで通り参加費無料で運営した。2013年度から2019年度までは、JENESYSの後継として実施された「JENESYS2.0」の一環として、毎年(公財)日韓文化交流基金の企画競争公募の審査基準に合格し、その業務委託金と韓国産業通商資源部の支援金を合わせて運営、2015年度からは、業務委託金と支援金の他、参加者から10,000～30,000円の参加費を徴収して運営している。
- ③ 2019年度からは(一財)日韓産業技術協力財団の助成を得るスキームとし、事業継続のための財源安定化を図っている。

#### (2) 「日韓学生未来会議」実施状況

- ① 高校生交流キャンプ参加後の更なる交流の継続と発展のため、キャンプ参加学生が自主的に日韓両国でOB・OG会(JKSFF/KJSFF)を発足させ、2006年度から活動を始めた。日韓各々の団体が勉強会・討論会・交流会等の開催、高校生交流キャンプへの運営ボランティア参加、他機関が開催する交流行事への参加や情報交換等、毎年活発な活動を行っている。

- ② 両国のOB・OG会活動の最大の交流事業として、両国学生が毎年、日韓に関わるテーマを一つ決め、事前学習・発表・討論を行う「日韓学生未来会議」を日韓交互に開催している。2021年度は「ポストコロナ時代：私たちだけが出来るプロジェクト」をテーマに、オンラインを利用して開催した。当協会では、学生の自主性を尊重しつつも、安全かつ効果的に会議を実現するため、交流会の企画・運営に関して積極的に助言し、渡航・滞在等の支援を行っている。
- ③ 高校生交流キャンプと同様に、運営面での継続支援を確保するための対応が重要な課題である。

## 2. 青少年交流事業の実施実績

### (1) 「日韓高校生交流キャンプ」開催実績

- ・事業形態：21世紀東アジア青少年大交流計画 [(公財)日韓文化交流基金委託事業]  
(第10回～第18回、第20回～第26回)
- ・主催：日韓経済協会、韓日経済協会
- ・後援：外務省、国土交通省  
韓国産業通商資源部
- ・開催実績：

	場所	日程(交流期間)	日本側参加者	韓国側	参加者計
第1回	日本・東京	2004年1月16日～20日	62人(4校)	50人	112人
第2回	日本・東京	2004年7月26日～30日	20人(10校)	52人	72人
第3回	韓国・ソウル	2004年8月18日～22日	46人(7校)	48人	94人
第4回	日本・東京	2005年2月11日～15日	64人(19校)	54人	118人
第5回	日本・東京	2005年8月6日～10日	44人(17校)	46人	90人
第6回	日本・東京	2006年2月9日～13日	59人(17校)	47人	106人
第7回	韓国・ソウル	2006年8月4日～8日	38人(16校)	49人	87人
第8回	日本・幕張	2007年2月9日～13日	42人(17校)	38人	80人
第9回	日本・東京	2007年8月5日～9日	34人(20校)	41人	75人
第10回	韓国・一山	2008年2月10日～14日	46人(17校)	39人	85人
第11回	日本・東京	2008年8月3日～7日	44人(25校)	44人	88人
第12回	韓国・ソウル	2009年2月1日～5日	50人(34校)	50人	100人
第13回	韓国・龍仁	2009年7月28日～8月1日	44人(31校)	44人	88人
第14回	日本・大阪	2010年2月2日～6日	39人(24校)	49人	88人

第15回	韓国・ソウル	2010年8月3日～8月7日	50人(40校)	49人	99人
第16回	韓国・ソウル	2011年2月8日～2月12日	50人(39校)	50人	100人
第17回	韓国・ソウル	2011年8月2日～6日	49人(44校)	47人	96人
第18回	日本・大阪	2012年1月31日～2月4日	50人(32校)	50人	100人
第19回	韓国・ソウル	2012年7月24日～28日	50人(40校)	50人	100人
第20回	日本・大阪	2013年7月28日～8月1日	50人(39校)	50人	100人
第21回	日本・川越	2014年7月27日～7月31日	50人(39校)	50人	100人
第22回	韓国・ソウル	2015年7月27日～7月31日	40人(34校)	40人	80人
第23回	日本・南三陸 &仙台	2016年7月29日～8月3日	40人(31校)	40人	80人
第24回	韓国・平昌	2017年7月24日～7月28日	40人(34校)	40人	80人
第25回	日本・広島	2018年7月29日～8月2日	40人(34校)	35人	75人
第26回	韓国・ソウル	2019年8月5日～8月9日	30人(30校)	30人	60人
延べ参加人数			1,171人	1,182人	2,353人

(2) 「日韓学生未来会議」開催実績

- ・事業形態：21世紀東アジア青少年大交流計画 [(公財)日韓文化交流基金委託事業]  
(第3回～第6回及び第9回～第10回)、その他の回は自主開催
- ・主催：JKSFF、KJSFF (日韓各々の高校生交流キャンプOB・OG会組織)
- ・後援：日韓経済協会
- ・開催実績：

	場所	日程 (交流期間)	日本側	韓国側	参加者
第1回	日本・幕張	2007年2月9日～12日	14人	10人	24人
第2回	韓国・ソウル	2008年2月12日～16日	6人	15人	21人
第3回	日本・東京	2009年2月9日～13日	17人	16人	33人
第4回	韓国・釜山	2009年8月3日～7日	20人	20人	40人
第5回	日本・京都	2010年8月9日～13日	17人	20人	37人
第6回	韓国・ソウル	2011年8月8日～12日	17人	19人	36人
第7回	韓国・ソウル	2012年8月6日～10日	14人	14人	28人
第8回	日本・大阪	2013年8月6日～10日	14人	15人	29人
第9回	韓国・大田	2014年8月5日～9日	14人	14人	28人

第10回	韓国・ソウル	2015年8月6日～10日	12人	8人	20人
第11回	日本・福岡	2016年8月18日～22日	14人	14人	28人
第12回	韓国・龍仁	2017年8月7日～11日	21人	16人	37人
第13回	日本・長崎	2018年8月5日～10日	22人	20人	42人
第14回	韓国・釜山	2019年8月18日～23日	18人	16人	34人
第15回	オンライン	2021年2月19日～21日	14人	16人	30人
第16回	オンライン	2021年8月20日～22日	15人	16人	31人
延べ参加人数			249人	249人	498人

(3) 「日韓青少年 Trial & Error 交流会」開催実績

- ・主催・運営：日韓経済協会 青少年交流センター、  
日韓青少年 Online 交流会推進チーム
- ・使用ツール：ZOOM（オンライン会議）
- ・開催実績：

	日程	詳細日程（全員集合日）	日本側	韓国側	参加者
第1回	2020年9月4～19日	4日 OT・開会 13日 中間発表 19日 最終発表・閉会	6人	9人	15人
第2回	2020年10月17～31日	17日 OT・開会 24日 中間発表 31日 最終発表・閉会	13人	9人	22人
延べ参加人数			19人	18人	37人

(4) 「Visit & Feel JAPAN Tour」開催実績

- ・事業形態：21世紀東アジア青少年大交流計画 [(公財)日韓文化交流基金委託事業]
- ・主催：日韓経済協会
- ・後援：外務省、駐日本大韓民国大使館、SJC（ソウルジャパンプラブ）
- ・協力・協賛：三菱商事、アサヒビール、JTB、JKSFF・KJSFF
- ・開催実績：

	場所	日程（交流期間）	日本側	韓国側	参加者
第1回	日本・関東	2017年2月13～18日	交流会のみ 参加	20人	20人
第2回	日本・北海道・青森	2018年1月30～2月4日	—	20人	20人
延べ参加人数				40人	40人

(5) 「日韓交流の広場」開催実績

- ・事業形態：21世紀東アジア青少年大交流計画 [(公財)日韓文化交流基金委託事業]
- ・主催：JKSFF、KJSFF (日韓各々の高校生交流キャンプOB・OG会組織)
- ・後援：日韓経済協会
- ・開催実績：

	場所	日程 (交流期間)	日本側	韓国側	参加者
第1回	韓国・ソウル	2011年12月23～25日	73人	54人	127人
延べ参加人数			73人	54人	127人



## Ⅶ. 調査・広報活動

韓国関連の情報・資料を会員宛に提供  
～定期刊行物（日報・週報・月報）の発行～

### 1. 日報の配信

近年は韓国の新聞各社の記事が日本語版として広くネットで配信されるようになり、その種類も増加した。それらの中から最新の韓国情勢をリアルタイムに伝えるため、主として政治・外交・社会一般動向に関する情報を整理し選別した記事を日報ベースにて適宜メールで配信した。

（従前は韓国語新聞数紙から選んだ記事を協会にて翻訳し週報記事としていたが、昨今の情報伝達の迅速化に合わせ記事発表から近い時間内に協会が選択した動向情報を日報として配信することになっている）

### 2. 週報『日韓経済協会通信』の配信

韓国の政治・経済動向・経済指標統計・社会一般文化に関する情報を複数の韓国語経済週刊誌や韓国政府機関HPから選別し、それらを翻訳・編集したものを週報としてメール配信した。週報では経済関連記事を主として取りあげ、原則毎週木曜日に会員宛に送信した。

協会の客観的視点を基軸に韓国情勢をウオッチし週単位にて韓国の主要動向を情報として伝えた。

2021年度は、2021年4月1日付け第1445号から2022年3月24日付け第1489号までの45週分を発行した。

### 3. 月報『協会報』の発行

月刊の協会報の主な内容は次の通り。

#### [経済一般動向]

韓国の最新動向に沿った質量感のある関連記事を韓国の経済週刊誌各誌等から選択・翻訳・編集し情報として提供した。

#### [JKEレポート]

1カ月単位で「最近の韓国情勢」と「最近の日韓企業間の動向」を～報道日誌～として整理した。韓国メディア報道の中から選んだ日々の主要記事を整理して時系列的に掲載した。

#### [資料]

主要な各種の最新統計資料を韓国政府機関HP等から選択し翻訳したものを掲載した。

#### [協会・財団]

協会及び共に各種活動を協働している（一財）日韓産業技術協力財団の事業活動を要約日誌として報告した。協会の各種活動内容を紹介し報告した。

#### [その他]

主要ニュースインデックスとして政治・外交、経済、社会・文化、新型コロナウイルス、北朝鮮に類別した韓国報道の時系列目次で、各表題の記事は上記の〔JKEレポート〕に記載されている。

2021年度は、576号（2021年4月号）から587号（2022年3月号）まで月刊で計12冊を発行し、会員会社・関係団体等に郵送配布した。

なお、協会報に掲載した[経済一般動向]の過去1年間の掲載記事一覧は別添の通り。

#### 4. 最近の統計指標で見た韓国経済

韓国は継続的に貿易依存度が高いが、韓国の2021年の実績(暦年)は輸出6,445.4億ドル（前年比25.8%増）、輸入6,150.5億ドル（同31.5%増）、貿易収支黒字は294.9億ドルだった。～通関基準の暫定値～

輸出入を合わせた年間貿易額は2011年に1兆ドルを超えた。2015年と2016年は1兆ドル未達となったが2017年に回復し、2018年が1兆1,401億ドル、2019年は1兆456億ドルを達成していた。しかし、2020年はコロナ禍の影響もあり9,801億ドルとなり1兆ドルには届かなかった。2021年度は1兆2,596億ドルとなり過去最大規模となった

一方、韓国銀行発表の2021年の経常収支（速報値）は883億ドルの黒字（前年は759億ドル）で、1998年から24年連続で黒字を維持している。

外貨準備高は2021年末で4,631億ドル（2022年3月末4,578億ドル）を保有している。因みに、20年末は4,431億ドル、19年末は4,088億ドル、18年末は4,037億ドル。

韓国の実質GDP成長率は2011年以降2～3%台で推移していたが、2020年はコロナ禍で△1.0%となり、2021年は前年比4.0%だった。

統計庁発表の若年失業率（15～29歳）は2021年9月に5.4%となったが2022年3月に7.2%に増加し、若年層の就職難は継続している。

また、家計負債も持続的に増加が続き2020年末で1,727兆ウォン（約166兆円）、2021年末では1,765兆ウォン（約170億円）となった。いずれも引き続き大きな

社会問題となっている。

なお、2021年も新型コロナウイルスの蔓延が世界に拡大し世界経済に大きな影響を与えた。韓国は初期段階で防疫への政府対応が成功し高く評価されたが、2022年3月末時点ではワクチン手配の遅延に対する不満等も出ている。

2022年3月17日に一日の感染者が62万1,181人で過去最大となり、3月31日には32万743人となった。

2022年3月31日午前0時時点での韓国全土の累計感染者は1,309万5,631人、死者数は1万6,230人と発表されている。



(2) 日 時：令和3年（2021年）9月5日

(3) 場 所：ソウル特別市江南（カンナム）区 COEX 展示場よりオンライン配信

#### 4. 開天節（韓国建国記念日）記念動画

(1) 概 要：「開天節」を記念する韓国大使館主催の国慶日のイベント。前年に引き続き記念動画を配信して実施され、佐々木会長がビデオメッセージを送った。

(2) 日 時：令和3年（2021年）10月3日

(3) 場 所：YouTube で配信

#### 5. 駐日韓国大使館

(1) 姜昌一（カン・チャンイル）駐日韓国大使歓迎会

概 要：1月に着任されたものの、コロナ禍により延期となっていたが、和やかな会となった。

日 時：令和3年（2021年）7月16日

場 所：東京會舘

参加者：佐々木会長、麻生副会長をはじめ役員13名が参加

(2) 大使公邸での夕食会

概 要：姜大使主催による夕食会に佐々木会長や副会長が招待された。佐々木会長が交流促進に向けた協会・財団の活動を紹介したほか、東アジアにおける近代史で盛り上がった。

日 時：令和3年（2021年）10月26日

場 所：駐日韓国大使公邸

参加者：佐々木会長、上田副会長、池田副会長、村山副会長ほか

#### 6. イベントの開催中止、見送り

(1) 賀詞交歓会

例年は1月中下旬に会員企業や政府、関連団体などに参集いただき開催していたが、まん延防止重点措置の発出に伴い見送り。

(2) サポーター会議

学識者など日韓関係に精通した方々に参集いただき、協会の事業活動への助言を求めている。本年は1月開催を準備していたが、コロナ感染拡大により開催を見送りとした。

## IX. 会 員 異 動

### 1. 入会

- |           |    |
|-----------|----|
| (1) 正 会 員 | なし |
| (2) 協力会員  | なし |

### 2. 退会

- |              |            |
|--------------|------------|
| (1) 正会員      | (退会年月日)    |
| (会員名)        |            |
| 兼松株式会社       | 2021年9月30日 |
| 株式会社シャンソン化粧品 | 〃          |
| JFE商事株式会社    | 〃          |
| ダイキン工業株式会社   | 〃          |
| (2) 協力会員     | (退会年月日)    |
| NKN株式会社      | 2021年9月30日 |

### 3. 2022年3月31日現在

正 会 員 数	61社
協力会員数	7社

以上

月刊誌『協会報』の主要標題一覧  
2021年4月（第576号）～2022年3月（第587号）

〔特 集〕		〔経済一般動向〕		
2021年7月	*専務理事就任のご挨拶	2021年4月	*経済5団体すべて「企業人が会長」の時代に	
2022年1月	*令和4年 年頭所感（佐々木幹夫）		*韓国土地住宅公社（LH）をどうするのか	
〔特別寄稿〕			*コロナ感染確認者10万人突破、深刻化する二極化	
2021年10月	*日韓交流おまつり2021 in Seoul		*SK、崔泰源会長流の未来戦略	
〔JKERレポート〕			*現代自動車・SK・ポスコが水素同盟を結成	
2021年4月	*最近の韓国情勢～報道日誌～		*鉄を溶かしてきたポスコ、二次電池の原料を手中に	
2022年3月			*銀行の家計貸付が初めて1,000兆ウォン突破	
2021年4月	*最近の日韓企業間の動向～報道日誌～	5月	*第4次災難支援金支給に関する公平性論議の理由	
2022年3月			*100兆ウォンのファウンドリ市場、本格化する覇権争い	
〔活動日誌〕			*サムスン・インテル・TSMCの競争力比較	
2021年4月	*日韓経済協会・日韓産業技術協力財団の活動日誌		*「韓国家電の底力」サムスン・LG、1～3月に大躍進	
2022年3月			*ネイバー・カカオがコラボレーションツールを拡大	
〔経済人会議〕			*業績好調な造船業界が乗り上げた暗礁	
2021年9月	*第53回日韓経済人会議 開催のご案内	6月	*高位公職者の財産分析 - 不動産	
2021年11月	*第53回日韓経済人会議をオンラインで開催		*呉世勲（オ・セフン）当選後のソウルの不動産市場	
〔新産業貿易会議〕			*新たな世代間の対立 20代 vs 40代	
2021年6月	*新産業貿易会議の報告		*公企業の負債報告書	
2021年11月	*第22回日韓新産業貿易会議		*公的資金による支援を受けた企業分析	
〔学生未来会議〕			*政府による炭素税導入 企業は「緊急事態」	
2021年6月	*日韓の民間交流の現況について	7月	*10大グループの過去10年間のM&A分析	
2021年9月	*「第16回日韓学生未来会議」実施について			① 総論 ②サムスン ③現代自動車 ④SK
				*沸騰する反中感情・・・新チャイナリスク
			I. 反中感情はどれくらい？	
			*10大グループの過去10年間のM&A分析	
			⑤LG ⑥ロッテ ⑦ポスコ	
			*沸騰する反中感情・・・新チャイナリスク	
			II. 類型別に見た各企業の「チャイナリスク」	
			III. 新チャイナリスクの解決法	
			*財界の「アメリカン・ドリーム」	
			① 半導体 ②バッテリー ③自動車 ④バイオ	
			*半導体から鉄鋼まで、製造業の華麗なる復活	
			I. 半導体のスーパーサイクル	
			II. 石油化学 III. 鉄 鋼	
		8月	*公務員急増で人件費110兆ウォン突破	
			*下半期の利上げ可能性で窮地に陥る企業・家計	
			*具光謨会長の就任から3年、LGが変わった	
			*カカオはなぜ金融に狙いを定めたのか	
			*格安航空会社（LCC）業界、「3強体制」に再編へ	
			*企業が主導する水素経済 【総論】	
			*企業が主導する水素経済	
			【現代自動車】 【SK】 【ポスコ】 【暁星グループ】	
			*スーパーサイクルで受注急増、進撃の「K-造船」	

2021年9月	<p>*産業別・コロナ感染再拡大への対応戦略</p> <p>①電子・半導体 ②鉄鋼・石油化学</p> <p>③航空 ④造船 ⑤建設</p> <p>*補正予算が繰り返され、膨れ上がる国の借金</p> <p>*「インフレ民国」で生き残る</p> <p>I. 強まるインフレ懸念</p> <p>II. 産業別インフレ予想図</p> <p>*最低賃金をもたらした波紋</p> <p>I. 文政権の平均引上率、実は朴政権よりも低い</p> <p>II. 月給は上がったが働き口は減った</p> <p>III. 誰も歓迎しない引き上げ、対立の連続</p> <p>IV. 世界各国でも「引き上げvs副作用」で論争に</p> <p>*東京五輪唯一の不参加国「北朝鮮」</p> <p>…限界国家となるか</p>	2022年1月	<p>*半導体・DP・スマホ、</p> <p>過去最大輸出でも喜べない理由</p> <p>*非正規職、初の800万人突破</p> <p>*ヌリ号打ち上げで前進した韓国の宇宙産業</p> <p>*岐路に立つ不動産市場</p> <p>I. 実勢価格の下落vs依然として続く供給量不足</p> <p>II. 上昇vs下落、主要な要因から見る不動産市場</p> <p>*毎経エコノミー誌 2022年経済大予測</p> <p>I. ウィズコロナ時代、世界経済は回復するか</p> <p>II. 9主要産業と不動産の天気図</p> <p>*人手不足で潜在成長率急落、国家負債は急増</p> <p>*変化について行けない企業、平均寿命は「12年」</p> <p>*サムスンバイオロジクスが海外事業拡大を宣言</p> <p>*持株会社への転換を宣言したポスコ</p> <p>*70年代生まれの悲しい嘆き</p> <p>I. 権限はなく責任だけを背負う「生涯実務者」</p> <p>II. 1970年代生まれと他の世代を比較</p>
10月	<p>*サムスン、「投資240兆ウォン・雇用4万人」</p> <p>*600兆ウォン台の「スーパー予算」</p> <p>*利上げがもたらす後遺症</p> <p>借金を勧める大韓民国</p> <p>I. 制御不能の家計負債</p> <p>II. 急増する銀行融資、利上げへの危機感も拡大</p> <p>III. 銀行融資の抑制で保険・貯蓄銀行の「風船効果」</p> <p>*ネイバーvsカカオ 韓国経済の歴史を書き換える</p> <p>I. 「連合軍」ネイバー vs 「突撃、前へ」カカオ</p> <p>II. ネイバー vs カカオ 競争力の比較</p>	2月	<p>*中央日報エコノミスト誌 2022年の韓国経済大予測</p> <p>(1) タカ派に転じたFRB、金融引き締めは加速するか？</p> <p>(2) コロナで増加の流動性、</p> <p>インフレの波は押し寄せるか？</p> <p>(3) グローバルESG経営、炭素排出ゼロ時代は近づくか？</p> <p>(4) 中国バッテリーはその地位を維持できるのか？</p> <p>(5) 世界は半導体戦争中 韓国は覇権を守れるのか？</p> <p>(6) 製薬・バイオ業界の新たな成長エンジンは？</p>
11月	<p>*SKイノ、米バッテリー工場に13兆ウォン投資</p> <p>*バッテリーのパラダイムシフト</p> <p>*K - 水素の未来戦略が一堂に</p> <p>(A) 10大グループのトップが「水素」で一つに</p> <p>(B) 走る水素トレーラーから</p> <p>人命救助水素ドローンまで</p> <p>*ゴルフブームでマンションにもスクリーンゴルフ</p> <p>*ニューノーマル？ 災難？</p> <p>「ウォルセ」時代がやって来る</p> <p>*出生率0.84人でまた「過去最低」に</p>	3月	<p>*現代自動車、昨年の営業利益6兆6,789億ウォン</p> <p>*大宇造船を逃した現代重工業グループの「次の一手」</p> <p>*世界の半導体業界の成績表…売上はサムスン、利益はTSMC</p> <p>*金融大手5社の業績分析</p> <p>*2055年には枯渇、国民年金は「時限爆弾」</p> <p>*似て非なるMZ世代…10代と40代をなぜ一括りに？</p>
12月	<p>*水素還元製鉄で勝負に出たポスコ</p> <p>*現代自動車グループ・鄭義宣体制1周年</p> <p>I. 次世代モビリティへアクセル全開、</p> <p>水素経済をリード</p> <p>II. 就任後に時価総額30兆ウォン突破、</p> <p>危機下でも疾走</p> <p>*ジレンマに陥った「Kバッテリー」</p>		



〔資料〕			
2021年4月	2021年2月の国際収支（暫定）（韓国銀行）	11月	2021年9月の国際収支（暫定）（韓国銀行）
	2021年2月の生産者物価指数（韓国銀行）		2021年9月の生産者物価指数（韓国銀行）
	2021年3月の消費者物価動向（韓国統計庁）		2021年10月の消費者物価動向（韓国統計庁）
	2021年3月の輸出入動向（産業通商資源部）		2021年10月の輸出入動向（産業通商資源部）
	2021年3月末の外貨準備高（韓国銀行）		2021年10月末の外貨準備高（韓国銀行）
	2021年3月の雇用統計（韓国統計庁）		2021年10月の雇用統計（韓国統計庁）
5月	2021年2月の国際収支（暫定）（韓国銀行）	12月	2021年7～9月期実質国内総生産（速報）
	2021年2月の生産者物価指数（韓国銀行）		2021年10月の国際収支（暫定）（韓国銀行）
	2021年4月の消費者物価動向（韓国統計庁）		2021年10月の生産者物価指数（韓国銀行）
	2021年4月の輸出入動向（産業通商資源部）		2021年11月の消費者物価動向（韓国統計庁）
	2021年4月末の外貨準備高（韓国銀行）		2021年11月の輸出入動向（産業通商資源部）
	2021年4月の雇用統計（韓国統計庁）		2021年11月末の外貨準備高（韓国銀行）
6月	2021年4月の国際収支（暫定）（韓国銀行）	2022年1月	2021年11月の雇用統計（韓国統計庁）
	2021年4月の生産者物価指数（韓国銀行）		2021年11月の国際収支（暫定）（韓国銀行）
	2021年5月の消費者物価動向（韓国統計庁）		2021年11月の生産者物価指数（韓国銀行）
	2021年5月の輸出入動向（産業通商資源部）		2021年12月の消費者物価動向（韓国統計庁）
	2021年5月末の外貨準備高（韓国銀行）		2021年年間と12月の輸出入動向（産業通商資源部）
	2021年5月の雇用統計（韓国統計庁）		2021年12月末の外貨準備高（韓国銀行）
	2021年1～3月期実質国内総生産（速報）（韓国銀行）		2021年12月と年間の雇用統計（韓国統計庁）
7月	2021年5月の国際収支（暫定）（韓国銀行）	2月	2021年12月の国際収支（暫定）（韓国銀行）
	2021年5月の生産者物価指数（韓国銀行）		2021年12月の生産者物価指数（韓国銀行）
	2021年6月の消費者物価動向（韓国統計庁）		2022年1月の消費者物価動向（韓国統計庁）
	2021年6月と上半期の輸出入動向（産業通商資源部）		2022年1月の輸出入動向（産業通商資源部）
	2021年6月末の外貨準備高（韓国銀行）		2022年1月末の外貨準備高（韓国銀行）
	2021年6月の雇用統計（韓国統計庁）		2022年1月の雇用統計（韓国統計庁）
8月	2021年6月の国際収支（暫定）（韓国銀行）	3月	2021年10～12月期と年間の実質国内総生産（速報）
	2021年6月の生産者物価指数（韓国銀行）		2022年1月の国際収支（暫定）（韓国銀行）
	2021年7月の消費者物価動向（韓国統計庁）		2022年1月の生産者物価指数（韓国銀行）
	2021年7月と上半期の輸出入動向（産業通商資源部）		2022年2月の消費者物価動向（韓国統計庁）
	2021年7月末の外貨準備高（韓国銀行）		2022年2月の輸出入動向（産業通商資源部）
	2021年7月の雇用統計（韓国統計庁）		2022年2月末の外貨準備高（韓国銀行）
	資料2021年4～6月期実質国内総生産（速報）		2022年2月の雇用統計（韓国統計庁）
9月	2021年7月の国際収支（暫定）（韓国銀行）		
	2021年7月の生産者物価指数（韓国銀行）		
	2021年8月の消費者物価動向（韓国統計庁）		
	2021年8月の輸出入動向（産業通商資源部）		
	2021年8月末の外貨準備高（韓国銀行）		
	2021年8月の雇用統計（韓国統計庁）		
10月	2021年8月の国際収支（暫定）（韓国銀行）		
	2021年8月の生産者物価指数（韓国銀行）		
	2021年9月の消費者物価動向（韓国統計庁）		
	2021年9月の輸出入動向（産業通商資源部）		
	2021年9月末の外貨準備高（韓国銀行）		
	2021年9月の雇用統計（韓国統計庁）		